

N響メンバーによるゲートウェイ・ゾリステン2023

～Cocomi&サキタハヂメを迎えて～



Cocomi (Fl.)

3歳からヴァイオリン、そして11歳にフルートを始める。ヴラディーミル・アシュケナージ、エマニュエル・パユのマスタークラスを修了。これまでに、ヤマノジュニアフルートコンクール優秀賞3回、最優秀賞1回並びに特別賞受賞。2019年には、日本奏楽コンクールで最高位を受賞。管楽器部門第1位とともにフランス近代音楽賞受賞。

2021年1月、東京フィルハーモニー交響楽団の「ニューイヤークンサート2021」にソリストとして出演。同年、京都の西本願寺で無観客で収録された「音舞台」への出演も果たす。2022年4月デビュー・アルバム「de l' amour」をリリース。12月に東京・紀尾井ホールで行われたデビュー・リサイタルを成功裡に終える。

2023年2月には、ニューヨークのラジオシティ・ミュージックホールで開催されたピアニスト、ラン・ランのコンサートにゲスト出演。公演での世界デビューを果たす。同年3月、桐朋学園大学音楽学部 カレッジ・ディプロマ・コースを修了。

現在同大学ソリストディプロマコースに在籍中。フルートを泉真由氏、NHK交響楽団首席フルート奏者である神田寛明氏に師事している。



サキタハヂメ (ミュージカルソー)

音楽家(作曲家、ミュージカルソー(のこぎり)奏者)。1991年にミュージカルソーの美しさに魅せられて独学で習得、1997年と2004年にアメリカで開催のミュージカルソー世界大会で2度優勝を果たす。作曲家としては、NHK連続テレビ小説「おちよやん」の音楽を担当。そのほかテレビ番組、映画、舞台、CMなどに音楽提供を行っている。既存の音楽の枠を超えて常に新しい作品を創作し続けており、「自身の音楽と自然と呼応する音世界」を模索し、発信している。日本国内のみならず、アメリカ、チェコ、フランス(パリ)、イタリア(フィレンツェ/ローマ)、エストニア、フィンランド、カザフスタン、ウズベキスタン、キルギス、韓国、等でもサキタハヂメコンサートを行う。国内外で精力的に演奏活動中。

・世界初の「ミュージカルソー協奏曲」を作編曲し各地のオーケストラで演奏。 ・ドラマ、CM、ミュージカル、演劇公演などに楽曲提供多数。NHK朝の連続テレビ小説「おちよやん」、NHK Eテレ「シャキーン!」、日本テレビ「フランケンシュタインの恋」「妖怪人間ベム」「ど根性ガエル」、WOWOW「宮沢賢治の食卓」、NHK 木曜時代劇「銀二貫」、NHK BSプレミアム「黒蜥蜴-BLACK LIZARD-」、NHK Eテレ「u&i」「リフォーマーズの杖」、公益財団法人 東京動物園協会「東京Zoo vie」等 ・平成16年大阪市「咲くやこの花賞」、平成23年「文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞(芸術振興部門)」受賞。

・「奥河内音絵巻」(公益財団法人 河内長野市文化振興財団)「山を鳴らす」等をプロデュース。

N響メンバーによる「ゲートウェイ・ゾリステン」

Gateway Solisten by Member of NHK Symphony Orchestra, Tokyo

2021年新型コロナウイルス感染症の影響によりコンサートの中止が相次ぎエンタメ業界の先行きが見えない中、音楽と人との中継役でありたいと、高輪ゲートウェイ駅を最寄駅とするNHK交響楽団に所属するメンバーによって演奏形態に捉われないユニットを結成。(ゲートウェイ(Gateway)は英語で入口を意味し、通信手段の異なる両者の中継する機器そのものを指すインターネット単語。また、ゾリステン(Solisten)はソリストからなる集団を意味する。)21年12月紀尾井ホールで第1回デビューコンサート(ゲスト:ヴァイオリン 廣津留すみれ、ミュージカルソー(のこぎり) サキタハヂメ)、22年2月銀座ヤマハホールでクローズドコンサート、第2回演奏会は、～The future of young players～として注目のピアニスト佐藤文音、第3回演奏会は同年11月白寿ホールで新進フルート奏者:Cocomi、ミュージカルソー(のこぎり) サキタハヂメを迎え実施。23年8月北海道ツアー(札幌・室蘭・函館・中標津)を公演。

N響メンバー



森田昌弘 (Vl.)

4歳よりヴァイオリンを始める。桐朋学園大学在学中より在京オーケストラのゲストアシスタントコンサートマスターなどを務め、同大学卒業後、1995年NHK交響楽団に入団。現在次席奏者。山下浩司、辰巳明子の各氏に師事。ピアノのシャル・リシャール＝アムラン、ヴァイオリンのサラ・チャン等国内外の著名アーティストと共演し、好評を得た。2019NHK 大河ドラマ「いだてん」等の劇伴レコーディング等、森田ストリングスのリーダーとして録音活動も行っている。桐朋学園オーケストラアカデミー、桐朋学園オーケストラの招聘講師。



御法川雄矢 (Vla.)

北海道出身。10歳よりヴァイオリンを始め、その後ヴィオラに転向。桐朋女子高等学校音楽科(共学)を経て、2003年桐朋学園大学音楽学部卒業。2000年よりバンドネオン奏者小松亮太氏のライブ、レコーディングに参加する。2009年2月NHK交響楽団入団。指揮者としても数多くのバレエ公演を指揮し高い評価を受けている。またシンガーソングライター半崎美子氏のオーケストラアレンジ、テノール佐野成宏氏のアルバム「The Christmas Song」全曲のアレンジを担当するなどアレンジャーとしても活躍している。これまでにヴィオラを江戸純子、ヴァイオリンを市川映子、指揮を堤俊作、各氏に師事。現在、NHK交響楽団ヴィオラ奏者、小松亮太オルケスタ・ティピカ、N響メンバーによるゲートウェイ・ゾリステン、どさんこクラシックのメンバーとして活動。カメラータ・ナガノ音楽監督。洗足学園音楽大学非常勤講師。



村井将 (Vc.)

東京芸術大学卒業。第56回日本音楽コンクール第2位入賞。第1回室内楽コンクール入選。学内において、野村賞受賞。これまでに、塚原みどり、井上頼豊、堀江泰氏、レーズフラジョー、堀了介、各氏に師事。神戸室内合奏団、新星日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団首席奏者を経て、現在NHK交響楽団チェロ奏者。ヴェルテックス・ムーゼ、進藤義武弦楽四重奏団メンバー。



本間達朗 (Cb.)

桐朋学園大学を首席で卒業。卒業時、皇居内桃華学堂にて御前演奏を行う。2008年、NHK交響楽団に入団。2014年、文化庁新進芸術家海外派遣員としてウィーンに留学。第7回日本演奏家コンクール第1位、第18回宝塚バグ音楽コンクール第3位受賞。これまでに、藤澤光雄、西田直文、Herbert Mayrの各氏に師事。桐朋学園大学非常勤講師。



水谷上総 (Fg.)

京都市出身。16歳よりファゴットを始める。1987年京都市立芸術大学卒業。同年、ドイツ学術交流会(DAAD)給費留学生としてデトモルト音楽大学に留学。90年同大学を最優秀で卒業、ヘルマン・エンク氏に師事。ライン・ドイツ歌劇場管弦楽団(89年～)、群馬交響楽団(93年～)を経て、2001年NHK交響楽団首席ファゴット奏者に就任。ソリストとして群馬交響楽団、NHK交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団と共演。紀尾井ホール室内管弦楽団メンバー。CDは池辺晋一郎のファゴット協奏曲「炎の資格」(カメラータ)、「ゾナーテン」「ドイツ作曲家によるファゴット作品集」「ファゴッティエ」(オクタヴィア・レコード)をリリース。東京音楽大学兼任教授。



山根孝司 (Cl.)

下関市出身。国立音楽大学、ベルギーの王立フランダース音楽院及びリエージュ音楽院で、クラリネット、室内楽、作曲を学ぶ。アントワープのシャン・ダクション、ブリュッセルのイクトゥス・アンサンブル、パリのアンサンブル・アルテルナンスなどの現代音楽グループでクラリネット奏者を務め、現在はNHK交響楽団楽員、昭和音楽大学非常勤講師。また、オーケストラ・リベラ・クラシカなどで、ピリオド楽器の演奏にも携わる。



野見山和子 (Hr.)

福岡県飯塚市出身。くらしき作陽大学卒業。桐朋学園大学研究科修了。日本フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団を経て、2017年9月よりNHK交響楽団ホルン奏者。宮崎国際音楽祭、霧島国際音楽祭、草津国際音楽アカデミー&フェスティバルなどに出演。これまでにホルンを山田 真、田中正大、今井仁志の各氏に師事。



三井ゆり (MC)

N響メンバーによるゲートウェイ・ゾリステン・MC。91年「週刊プレイボーイ」イメージガールとしてデビュー。94年TBS系「スーパーサッカー」でタレント・スポーツキャスターとして注目を集める。自動車のA級ライセンスや、サッカーの3級審判員の資格を取得するなどスポーツ万能な一面も。栄養士免許も取得しており「お嫁さんにしたいタレントNo1」に輝いたことも。2001年に歌手の野口五郎と結婚、現在大学生2人の母。旅番組をはじめバラエティ番組出演の他、コンサートやイベントの司会など多方面で活躍している。